

決算特別委員会県内調査報告書

令和元年10月17日(木)に、「認第2号 平成30年度神奈川県一般会計歳入歳出決算及び同年度神奈川県特別会計歳入歳出決算の認定」について調査を実施したところ、その概要は次のとおりでした。

神奈川県議会議長 梅 沢 裕 之 殿

決算特別委員会 委員長 河 本 文 雄

決算特別委員会県内調査報告書

令和元年10月17日（木）

1 調査の概要

- (1) 調査箇所 地方港湾湘南港 江の島大橋3車線化（臨港道路）及び江の島セーリングセンター、動物愛護センター
- (2) 出席委員 河本委員長、青山、あらいの両副委員長、
永田(磨)、永田(て)、神倉、おざわ、石川(巧)、山本、柳下、
加藤(元)、内田、いそもと、小川、堀江、菅原(あ)、須田、飯野、
佐々木(ナ)、栄居、古賀、作山、西村、佐々木(正)、藤井、京島、
石川(裕)、池田、さとう(知)、君嶋、北井の各委員
- (3) 調査日 令和元年10月17日(木)

2 地方港湾湘南港 江の島大橋3車線化（臨港道路）及び江の島セーリングセンター

(1) 調査目的

次の2カ所の整備状況を現地調査により確認することで、認第2号 平成30年度神奈川県一般会計歳入歳出決算及び同年度神奈川県特別会計歳入歳出決算の認定についての審査の参考に資する。

ア 地方港湾湘南港 江の島大橋3車線化（臨港道路）

江の島大橋は、湘南港を建設するための工事用道路として昭和37年に竣工し、その後、昭和39年に東京オリンピック大会の開催にあわせて一般供用された2車線の橋梁である。江の島は湘南を代表する観光地であり、多くの観光者が来訪することから、休日には駐車場待ちの車両が島内から江の島大橋に連なり、渋滞対策が課題となっていた。また、竣工後50年以上が経過し、塩害対策などの長寿命化対策が必要となっていた。

こうした中、江の島で東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が開催されることが平成27年6月に決定したことを受け、オリンピック大会時のみならず休日を中心とした渋滞の緩和と長寿命化対策を図るため、江の島大橋の3車線化事業を実施した。

イ 江の島セーリングセンター

湘南港は、昭和39年に、東京オリンピック大会のヨット競技会場として完成し、以来、公共ヨットハーバーの草分けとして、我が国におけるヨットの普及に大きな役割を担ってきた。

現在、約700隻のヨットを保管し、年間100回以上のヨットレースが開催されているほか、近年は障害者や高齢者でも操作が容易な小型ヨットの体験教室も開催されるなど、誰もが気軽に訪れることができる港として、多くの方々に利用されている。

こうした中、江の島で東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が開催されることが平成27年6月に決定したことを受け、大会の円滑な運営を

図るとともに、オリンピックまでの期間は日本人選手の活躍を支援する施設として、また、オリンピック後は、セーリング競技大会の円滑な運営など、セーリング活動を支える施設として、艇整備庫等を備えた江の島セーリングセンターを新築した。

(2) 主な説明項目

ア 地方港湾湘南港 江の島大橋3車線化（臨港道路）の工事概要

(ア) 施工場所

藤沢市江の島一丁目～片瀬海岸一丁目

(イ) 施工延長

約900メートル（内、江の島大橋橋梁部約324メートル）

(ウ) 幅員

施工前 9.6メートル（2車線）

施工後 11.0メートル（3車線、両側自転車通行空間）

(エ) 主要工事内容

橋梁拡幅工、橋梁補強工、橋梁補修工、照明灯設置工、防護柵工、排水構造物工、舗装工

(オ) 総事業費

約13億円

(カ) 建設費総額

年度	区分	予算額 (繰越予算額)	決算額	支出内訳	
				委託料	工事請負費
平成28	港湾改修費 (公共事業)	円 488,010,000	円 0	円 0	円 0
	港湾補修費 (県単独事業)	41,866,936	20,599,880	20,599,880	0
	小計	529,876,936	20,599,880	20,599,880	0
平成29	港湾改修費 (公共事業)	525,000,000 (488,010,000)	606,536,680	0	606,536,680
	港湾補修費 (県単独事業)	656,544 (21,267,056)	21,824,600	21,774,600	50,000
	小計	525,656,544 (509,277,056)	628,361,280	21,774,600	606,586,680
平成30	港湾改修費 (公共事業)	187,879,360 (406,473,320)	521,693,000	0	521,693,000
	港湾補修費 (県単独事業)	7,143,600 (99,000)	1,242,600	993,600	249,000
	小計	195,022,960 (406,572,320)	522,935,600	993,600	521,942,000
合計		1,250,556,440	1,171,896,760	43,368,080	1,128,528,680

年度	財源内訳				残 額 (繰越額)
	公有財産購入費等	国庫支出金	県 債	一般財源	
平成28	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0 (488,010,000)
	0	0	0	20,599,880	0 (21,267,056)
	0	0	0	20,599,880	0 (509,277,056)
平成29	0	202,178,893	334,000,000	70,357,787	0 (406,473,320)
	0	0	0	21,824,600	0 (99,000)
	0	202,178,893	334,000,000	92,182,387	0 (406,572,320)
平成30	0	173,897,666	342,887,955	4,907,379	0 (72,659,680)
	0	0	0	1,242,600	0 (6,000,000)
	0	173,897,666	342,887,955	6,149,979	0 (78,659,680)
合 計	0	376,076,559	676,887,955	118,932,246	0

(注)

- 1 () 内は、繰越額であり、外数で記載してある。
- 2 この事業は、4カ年継続事業（平成28～令和元年度）であり、繰越額の内訳は次のとおりである。
平成28年度明許繰越額 509,277,056円
平成29年度明許繰越額 406,572,320円
平成30年度明許繰越額 78,659,680円
- 3 令和元年度以降の所要額は、明許繰越額 78,659,680 円であり、建設費総予算額は、1,250,556,440円である。

(キ) 建設費の内訳

a 委託料（4件）

種 別	委託金額	委託先	委託期間	平成30年度 支出額
交通量調査	円 5,682,560	株式会社協和 コンサルタンツ 横浜営業所	平成28年4月19日 ～平成28年10月31日	円 0
測量調査	5,917,320	光南測量コンサル タント有限会 社	平成28年11月7日 ～平成29年3月15日	0
臨港道路設計	30,774,600	株式会社協和 コンサルタンツ 横浜営業所	平成28年10月31日 ～平成29年8月31日	0
臨港道路修正設計	993,600	株式会社協和 コンサルタンツ 横浜営業所	平成30年8月8日 ～平成30年9月28日	993,600
合 計	43,368,080			993,600

b 工事請負費（6件）

種 別	請負金額	請負業者	工 期	平成30年度 支出額
江の島大橋3車線 化工事	円 378,346,680	浅岡建設株式会 社	平成29年4月14日 ～平成30年1月31日	円 0
	392,801,400	株式会社湘南推 進工業	平成29年10月27日 ～平成30年6月25日	164,561,400
	80,848,800	協和通商株式会 社	平成30年7月25日 ～平成30年11月30日	80,848,800
	141,301,800	三和工業株式会 社	平成30年10月26日 ～平成31年3月29日	141,301,800
	131,809,680	飛松建設株式会 社	平成30年12月17日 ～令和元年8月30日	102,400,000
	82,080,000	西建設工業株式 会社	平成31年2月19日 ～令和元年8月15日	32,830,000
合 計	1,207,188,360			521,942,000

イ 江の島セーリングセンターの工事概要

(ア) 施工場所

藤沢市江の島1丁目12番地2号

(イ) 建築面積

527.87平方メートル

(ウ) 構造及び規模

構造	面積	施設等の内容
鉄骨造 地上3階建	延床 999.01 m ²	海面監視室、艇整備庫、会議室、倉庫他

(エ) 総事業費

約7億円

(オ) 建設費総額

年度	区分	予算額 (繰越予算額)	決算額	支出内訳	
				委託料	工事請負費
平成29	セーリングセンター (仮称)整備費 (県単独事業)	円 32,123,520	円 8,230,000	円 8,230,000	円 0
平成30	セーリングセンター (仮称)整備費 (県単独事業)	632,986,000 (23,893,520)	307,068,320	25,976,320	281,092,000
合計		665,109,520	315,298,320	34,206,320	281,092,000

年度	財源内訳				残額 (繰越額)
	公有財産購入費等	諸収入	県債	一般財源	
平成29	円 0	円 0	円 5,349,500	円 2,880,500	円 0 (23,893,520)
平成30	0	66,930,000	159,000,000	81,138,320	0 (349,811,200)
合計	0	66,930,000	164,349,500	84,018,820	0

(注)

- ()内は、繰越額であり、外数で記載してある。
- この事業は、3ヶ年継続事業（平成29～令和元年度）であり、繰越額の内訳は、次のとおりである。
平成29年度事故繰越額 23,893,520円
平成30年度明許繰越額 349,811,200円
- 令和元年度以降の所要額は、明許繰越額 349,811,200円であり、建設費総予算額は、665,109,520円である。

(カ) 建設費の内訳

a 委託料 (3件)

種 別	委託金額	委託先	委託期間	平成30年度 支出額
セーリングセンター(仮称)新築工事設計業務委託	円 32,123,520	セントラルコンサル タント株式会社横浜 営業所	平成29年9月25日 ～平成30年7月31日	円 23,893,520
セーリングセンター(仮称)新築工事構造修正設計業務委託	982,800	セントラルコンサル タント株式会社横浜 営業所	平成30年8月3日 ～平成30年8月10日	982,800
セーリングセンター(仮称)新築工事監理業務委託	8,646,480	セントラルコンサル タント株式会社横浜 営業所	平成30年7月18日 ～工事完了の日	1,100,000
合 計	41,752,800			25,976,320

b 工事請負費 (3件)

種 別	請負金額	請負業者	工期	平成30年度 支出額
セーリングセンター(仮称)新築工事(建築)	円 470,155,320	アイグステック株式 会社	平成30年6月28日 ～令和元年7月12日	円 223,172,000
セーリングセンター(仮称)新築工事(電気)	85,395,600	佐藤電工株式会社	平成30年9月6日 ～令和元年7月12日	31,570,000
セーリングセンター(仮称)新築工事(空調)	67,285,080	相和設備工業株式会 社	平成30年7月17日 ～令和元年7月12日	26,350,000
合 計	622,836,000			281,092,000

(3) 主な質疑応答

質 疑 江の島大橋3車線化工事について、供用開始後、今年のプレ大会や、ことしの夏にも2回のプレ大会が開催されたと承知しているが、整備の効果はどうであったか。

応 答 県では、8月25日(日)に交通状況調査を実施した。その結果、江の島入り口にある駐車場への入場待ちの車両と島内への車両が分離され、江の島島内への所要時間が短縮するなど一定の効果を確認した。

質 疑 道路の渋滞は、近隣住民にとっては死活問題で、オリンピックを迎えるに当たっての一番の関心事と言ってよいほど注目を集めている。

3車線化された箇所は、生活道路と切り離された江の島に向かう道路という感覚であるが、一方で3車線化の箇所につながる国道134

号の渋滞も問題であると思っている。これから整備工事はないと思うが、オリンピック期間中の渋滞対策について考えがあれば伺いたい。

応 答 国道134号の渋滞対策については、オリンピックにおいては組織委員会と連携していく考えである。具体的には、できるだけ渋滞が発生しないように自動車で来る方を減らし、公共交通機関を使っただいて、できるだけ渋滞を減らすための対策をする方向である。

質 疑 事業費について伺う。江の島大橋はオリンピックの開催地でもあることから、オリンピックに関係する何か特別な予算が投入されているのか、それとも通常の道路工事という形でのお金の出し入れか。

応 答 道路に関しては国の交付金が入っている。公共施設の整備であるので、基本的には県の予算で行っている。

質 疑 3車線化で1.4メートルの拡幅が行われたということだったが、例えば、両側を2車線にするなどではなく、1.4メートルとした理由を教えてください。

応 答 基本的に、現在の橋を利用して拡げるのが一番早く経済的であるという考えであったので、どうしても3車線が限界であったということである。

質 疑 橋部分の拡幅に伴い、マリンスポーツなどの関係者や漁業者などの団体との調整や意見のヒアリングはどのように行ったのか。

応 答 江の島大橋3車線化に当たっては、平成29年5月31日に藤沢市商工会議所、藤沢市観光協会、江の島振興連絡協議会及び藤沢市に地元説明を行っており、いろいろ御意見を伺った。工事の詳細については、東側拡幅工事着手前の6月9日に藤沢市商工会議所、観光協会などに説明を行った後、地元の方にも説明を行っている。

質 疑 説明会に際し、地域の意見や要望にはどのようなものが多かったのか。

応 答 もともと藤沢市商工会議所、藤沢市観光協会、江の島振興連絡協議会など地元の方々から道路を拡げてほしいとの意見があり、それがきっかけで3車線化に至った。また、自転車通行区間をあわせて整備してほしいとの要望もあり、あわせて整備した。

質 疑 資料によると、江の島大橋は竣工後約50年が経過し、長寿命化のため今後は大規模修繕、改修を行うことになるとのことだが、どの程度長寿命化が図れるのか。

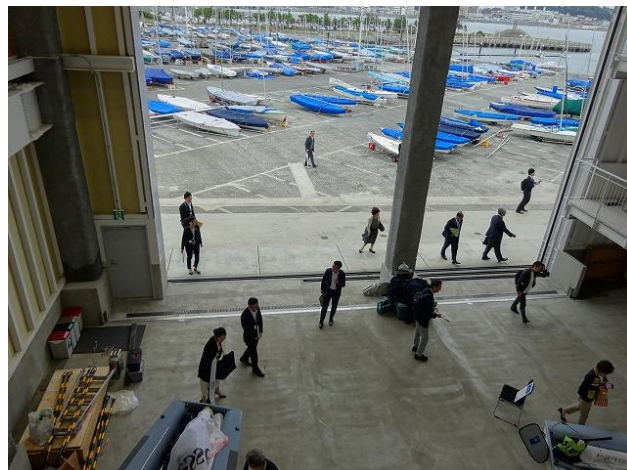
応 答 今回の工事で、腐食が進んでいた箇所にはコンクリート表面塗装を施し長寿命化対策を行ったが、これにより、あと何年大丈夫かは

申し上げられない。

質 疑 津波避難デッキもあわせて整備されたということだが、津波や地震のとき、今後避難所用の食糧の備蓄などを考えているか。

応 答 現時点では、セーリングセンターに食糧の備蓄の計画はない。

(※ 上記以外の質疑については、現場視察中に随時行われた。)



(4) 調査結果

地方港湾湘南港 江の島大橋3車線化（臨港道路）及び江の島セーリングセンターの整備の状況を現地調査することにより、決算特別委員会における議案審査の参考に資することができた。

3 動物愛護センター

(1) 調査目的

動物愛護センターは、犬と猫の殺処分ゼロの達成を機に、今後も犬や猫の殺処分ゼロを願う県民やボランティアの方々の気持ちに応えるため、動物を処分する施設から生かすための施設に転換し、県民が親しみ、ボランティアの方々が活動する動物愛護にふさわしい拠点として再整備した施設である。

そこで、当施設の整備状況を現地調査により確認することで、認第2号 平成30年度神奈川県一般会計歳入歳出決算及び同年度神奈川県特別会計歳入歳出決算の認定についての審査の参考に資する。

(2) 主な説明項目

工事概要

ア 施工場所

平塚市土屋401番

イ 敷地面積

25,676.53平方メートル

ウ 構造及び規模

棟	構造	面積	施設等の内容
本館棟	RC造 一部S造 地上2階建	延 ㎡ 2,743.00	事務室、所長室、ボランティア控室、相談室、会議室、犬・猫検疫室、犬・猫隔離室、手術室、処置室、入院室、検査室、犬・猫収容室、グルーミング室、犬・猫展示室、ふれあい譲渡室、ふれあいホール等
車庫	S造 平屋建	159.00	車庫
プロパン庫	S造 平屋建	6.44	プロパンボンベ室
ブロワー庫	S造 平屋建	10.00	機械室
動物用飼育舎	S造 平屋建	36.00	鳥等飼育舎
合計		2,954.44	

エ 建設費総額

年度	予 算 額 (繰越予算額)	決 算 額	支 出 内 訳			
			需用費	役務費	委託料	工事請負費
平成29	円 72,000,000	円 32,593,012	円 0	円 588,630	円 2,004,382	円 30,000,000
平成30	878,000,000 (39,406,988)	914,627,910	56,280	0	0	914,571,630
合 計	950,000,000	947,220,922	56,280	588,630	2,004,382	944,571,630

年度	財源内訳			残 額 (繰越額)
	繰 入 金	県 債	一 般 財 源	
平成29	円 32,593,012	円 0	円 0	円 0 (39,406,988)
平成30	254,182,667	473,000,000	187,445,243	0 (2,779,078)
合 計	286,775,679	473,000,000	187,445,243	0

(注)

- () 内は、繰越額であり、外数で記載してある。
- この事業は、3ヶ年継続事業（平成29～令和元年度）であり、繰越額の内訳は、次のとおりである。
平成29年度通次繰越額 39,406,988円
平成30年度通次繰越額 2,779,078円
- 令和元年度以降の所要額は、通次繰越額 2,779,078 円を含めて 814,779,078円であり、建設費総予算額は、1,762,000,000円である。

オ 建設費の内訳

(ア) 需用費

種 別	平成30年度支出額
消火器の購入	円 56,280

(イ) 役務費

種 別	契 約 金 額	平 成 30 年 度 支 出 額
構造計算適合性判定手数料	円 240,000	円 0
ふれあい広場内浄化槽の廃止に伴う浄化槽清掃料	213,840	0
建築物エネルギー消費性能確保計画適合性判定手数料	87,480	0
計画通知書申請手数料	44,000	0
道路占用掘削工事に伴う監督事務費	3,310	0
合 計	588,630	0

(ウ) 委託料

種 別	委託金額	委 託 先	委託期間	平成30年度支出額
動物保護センター 表示登記等業務委託	円 939,600	株式会社湘南ワイズ	平成30年2月13日 ～平成30年3月30日	円 0
動物保護センター 現本館棟第2次ア スベストスクリー ニング調査委託	495,720	株式会社ダイワ	平成29年9月26日 ～平成29年11月30日	0
動物保護センター 現本館棟第1次ア スベストスクリー ニング調査委託	450,262	株式会社ダイワ	平成29年6月30日 ～平成29年8月23日	0
動物保護センター 分筆登記業務委託	118,800	株式会社湘南ワイズ	平成29年9月22日 ～平成29年10月31日	0
合 計	2,004,382			0

(エ) 工事請負費

種 別	請 負 金 額	請 負 業 者	工 期	平成30年度支出額
動物保護センター 新築工事（建築）	977,214,240 ^円	亀井・富士特定建設 工事共同企業体	平成29年12月21日 ～平成31年4月26日	590,920,000 ^円
動物保護センター 新築工事（電気）	273,438,720	藤田電設株式会社	平成30年1月30日 ～平成31年4月26日	108,710,000
動物保護センター 新築工事（衛生）	192,443,040	東海気熱株式会社	平成30年3月7日 ～平成31年1月23日	107,101,630
動物保護センター 新築工事（空調）	131,103,360	株式会社神成工業	平成30年1月29日 ～平成31年4月26日	52,000,000
動物保護センター 新築工事（衛生一 その2）	92,685,600	株式会社神成工業	平成31年2月25日 ～平成31年4月26日	37,000,000
動物保護センター 新築工事（外構）	38,167,200	ハマーホーム株式会 社	平成30年8月10日 ～平成31年4月26日	18,840,000
合 計	1,705,052,160			914,571,630

(3) 主な質疑応答

質 疑 旧施設は処分するための施設であったが、生かすための施設になったのは知事の一言なのか、周囲の環境の盛り上がりでそうなったのか、もう少し詳しく説明いただきたい。

応 答 建てかえの経緯であるが、殺処分ゼロを達成したことを契機に、それを継続していくためには、生かすための設備を備えた施設にすべきとの庁内での議論を踏まえ、知事が判断した。

質 疑 庁内での議論を踏まえて知事が判断したとのことだが、そうではない、違うのではないかと他の委員の反応があるが、いかがか。

応 答 動物愛護センターの再整備に関してはいろいろな議論をいただき、建設したところである。平成25年に殺処分ゼロを達成できた。これは、職員というよりもボランティアの方々の多くの力によってできたものである。そこで、動物愛護の精神を深めることや、ボランティアの方々がより活躍しやすいようにということで、寄附を使って動物保護センターを建てかえようという庁内の議論が起こり、動物愛護の精神を広めていくために、県として建てかえることが決まったと承知している。

質 疑 殺処分ゼロを達成できたことにより建てかえの話が進展したと理解したが、では、殺処分ゼロが達成できたのは、ボランティアの方々が県職員に先行してそのような動きを活発に展開したからできたということか。

応 答 施設で殺処分をしていた犬や猫、その他の動物を何とか殺さないようにしたいとのボランティアの方々の強い思いがあり、ボランティアの方々が以前の保護センターに収容されていた動物を積極的に引き取って、新しい飼い主を見つけていただいた。その結果として殺処分ゼロが達成できた。

質 疑 ボランティアの方々の熱意と行動があって導かれたことと受けとめた。時代の要請もあったと思う。殺処分ゼロは望ましいと思うが、神奈川県以外の都道府県はどのような対応となっているのか、承知していれば紹介してもらいたい。

応 答 県内では横浜市と川崎市が動物愛護センターを運営しており、その実績は、横浜市が平成30年度で犬30頭、猫332頭、合計362頭を処分している。川崎市では、犬0頭、猫15頭、合計15頭を処分していると承知している。

なお、他の都道府県については今数字を持ち合わせていない。

質 疑 神奈川県の取り組みとして誇れるということであれば、もっと全国に発信していったほしいが、何か方策はあるか。

応 答 殺処分ゼロを経験してきたことを背景に、動物関係団体の協力があったことを含め、県の取り組みとして全国にいろいろな形で発信している。ホームページの充実はもちろん、県内での譲渡会の開催など、県の取り組みが広がっていくよう取り組んでいる。

質 疑 犬や猫の殺処分ゼロを達成しているが、施設にはウサギやカメのケージもあり、他の動物の殺処分についてはどのような状況か。

応 答 神奈川県動物の愛護及び管理に関する条例の規則で定めている動物や、その他動物愛護センター所長が認める動物については引き取ることになっている。ウサギやカメはもらわれていくことも多いが、ミドリガメ、いわゆるミシシippアカミミガメは処分している実態もある。

質 疑 今後、NPOやボランティアへのバックアップの強化をどのようにしていくか。

応 答 現在、ボランティアの方々へのバックアップを行っており、引き取った後の餌代の補助や、施設を建てかえる際にボランティア控室を設けるなども行っている。今後もしっかり支援していきたい。

質 疑 資金面という視点も大切だと思うので、2点確認したい。1点目はクラウドファンディングを行ったということだが、実績はどの程度であったか。2点目は、施設内の部屋のネーミングライツを四つ募集し、うち三つは決まったが、グルーミング室だけ決まっていないと承知し

ている。先般募集が終わったところだと思うが、経過を教えてください。

応 答 クラウドファンディングの実績は、535件の応募で、目標の500万円を大きく上回る608万円の寄附をいただいた。

ネーミングライツについては残り一部屋となり、先般募集を終了したが、また新たに募集開始することを本日記者発表している。

質 疑 台風の時など災害対策について、衛生面の問題も含め、ペットとの同行避難など、普及啓発活動や支援があれば紹介いただきたい。

応 答 昨今、災害が多くなる中で避難所へのペットとの同行避難という話がふえてきており、どうやってペットと一緒に避難するかについてさまざまな講習会や市町村と連携したPRを行っている。

(※ 上記以外の質疑については、現場視察中に随時行われた。)



(4) 調査結果

動物愛護センターの整備状況を現地調査することにより、決算特別委員会における議案審査の参考に資することができた。

〈参 考〉

- 1 随 行 者 福田副主幹（議会局議事課）、結束主事（議会局議事課）、
時田グループリーダー（会計局会計課）、山田副主幹（企業局財務課）
- 2 調査箇所側出席者
 - (1) 地方港湾湘南港 江の島大橋3車線化（臨港道路）及び江の島セーリングセンター
上前県土整備局長、佐藤河川下水道部長、依田県土整備経理課長、佐藤港湾事業調整担当課長、横溝藤沢土木事務所長、細川なぎさ港湾部長、田村なぎさ港湾課長、
平田スポーツ局長、三枝オリンピック・パラリンピック担当部長、矢島セーリング課長、萩原競技調整担当課長、中村スポーツ局管理担当課長、
小野会計管理者、石川会計局副局長兼会計課長
 - (2) 動物愛護センター
市川健康医療局長兼未病担当局長、加藤生活衛生部長、小笠原生活衛生課長、内山健康医療局経理担当課長、土肥動物愛護センター所長、依田次長兼管理課長、上條愛護・指導課長、
伊藤営繕計画課長、岬住宅営繕事務所営繕設備部長、伊東建築第一課長、朝比奈電気設備課長、武内機械設備課長、小野会計管理者、石川会計局副局長兼会計課長